

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
30	サレジオ工業高等専門学校	技術史	堤 一郎 非常勤講師 (元茨城大学)	2	後期	火	15	10:50~12:20	サレジオ工業高等専門学校	5

21世紀を担う技術者に必要な、

- A. 「歴史観」を持つことができる。
- B. 「技術をみる眼」を持つことができる。
- C. 「技術史をみる眼」を習得できる。

【授業の概要】

キーワードは「技術・歴史・人・眼」です。この講義では日本の古代から現代に至る「技術史」について、重要な内容を順に学びます。さらにさまざまな産業技術遺産についても話題にし、実物や映像も併せて技術者を目指す皆さんの関心を高め、「技術史をみる眼」を持てるよう講義を進めます。

【授業内容】

- | | |
|-----------------------|--|
| 1. 授業ガイダンス | <input type="checkbox"/> 「技術史をみる眼」を理解できる。 |
| 2. 古代の技術とその事例 | <input type="checkbox"/> 古代の鑄造法（貨幣の製造を話題として）を理解できる。 |
| 3. 渡来人と技術移転 | <input type="checkbox"/> 飛鳥石舞台と巨石の運搬について理解できる。 |
| 4. 日本的技術の発生と展開（1） | <input type="checkbox"/> 奈良の大仏建立（巨大構造物と建造物）について理解できる。 |
| 5. 日本的技術の発生と展開（2） | <input type="checkbox"/> 鉄砲伝来（鉄砲とねじの製造）について理解できる。 |
| 6. 江戸期の技術（1） | <input type="checkbox"/> 砂鉄とたたら製鉄（日本刀用の玉鋼製法）について理解できる。 |
| 7. 江戸期の技術（2） | <input type="checkbox"/> 和時計と機巧について理解できる。 |
| 8. 19世紀までの西洋技術の発達（1） | <input type="checkbox"/> 製粉と水車（ドナウ川の船水車）について理解できる。 |
| 9. 19世紀までの西洋技術の発達（2） | <input type="checkbox"/> 水車とイギリス産業革命について理解できる。 |
| 10. 明治期の技術（1） | <input type="checkbox"/> 日本の産業革命について理解できる。 |
| 11. 明治期の技術（2） | <input type="checkbox"/> 電力と通信の技術について理解できる。 |
| 12. 大正・昭和前期の技術 | <input type="checkbox"/> 鉄道の近代化について理解できる。 |
| 13. 昭和後期の技術 | <input type="checkbox"/> 電子技術の発展と自動化技術について理解できる。 |
| 14. 平成期の技術、技術遺産、授業の纏め | <input type="checkbox"/> システム化の進展と日本の技術遺産について理解できる。 |
| 15. 期末試験 | |

何れの講義も、(A, B, C) とする。

【成績評価方法】

期末試験 70%、振返りシートと講義内課題レポート 30%で評価します。

【教科書】

なし

【参考書、教材等】

自作プリントを配付します。

※ この授業は、9/12（火）が初回です。